

## 千葉市新港学校給食センター整備事業に関する審査及び結果

本市では、千葉市新港学校給食センター整備事業について、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき推進しており、このたび、学識経験者等で構成する「千葉市PFI事業審査委員会」（委員長 宮本 和明 武蔵工業大学環境情報学部教授）の審査を経て、次のとおり落札者を決定しましたのでお知らせします。

- 1 落札者（最優秀提案） 東洋食品グループ  
代表企業 株式会社東洋食品

### （選定理由）

本事業に対する「入札価格」及び「価格以外の提案」を総合的に判断した結果（総合評価一般競争入札）最も得点の高い上記業者を選定した。

今回提案を受けた3グループとも、それぞれに創意工夫が発揮された提案であったが、その中でも「東洋食品グループ」は、事業費の削減だけでなく、学校給食サービスの質的な向上が図れるものとして評価できるものであった。

### 2 落札者決定までの経緯

「千葉市PFI導入指針」に沿って、平成19年6月12日に「実施方針」を公表した。その後、事業スケジュールの変更が生じたが、平成20年1月11日に「特定事業の選定」及び「入札公告」を行い、説明会を実施した。

4月25日に入札及び提案書の受付を行い、3グループの参加があった。

「千葉市PFI事業審査委員会」は、各審査委員が有する専門的知識による意見を参考とし、審査項目ごとに厳正なる審査を行った。（審査内容の詳細については、後日公表する。）

市は、本事業審査委員会による総合評価結果（添付資料参照）により選定された最優秀提案をもとに、落札者を決定したものである。

### 3 落札金額 8,798,827,000円（消費税及び地方消費税を除く。）

千葉市新港学校給食センター整備事業の事業方式はBOT方式（事業期間中は、民間が施設を所有し、事業期間終了時に市に譲渡するもの）とし、事業分類はサービス購入型とする。

事業期間は、設計・建設期間が平成20年10月から平成22年6月末、施設の維持管理及び運営を行う期間は平成22年10月から平成37年9月までの15年間である。

入札価格は、設計費、建設費及び15年間の維持管理・運営に要する経費である。

事業者の対価については、市が15年間にわたり、支払う。

総合評価審査結果一覧

審査項目		Aグループ	Bグループ	Cグループ
事業計画に関する事項	事業実施方針・実施体制	3.0	1.5	1.5
	資金調達・返済計画の確実性・安定性	2.0	0.0	1.0
	リスク管理の方針	2.0	0.0	1.0
	市が実施する食数調整の自由度	1.0	0.5	0.5
	地域経済・社会への貢献	1.0	1.0	1.0
	小計	9.0	3.0	5.0
設計・建設業務に関する事項	社会性	2.0	1.0	2.0
	環境保全性	4.0	2.0	4.0
	安全性	3.0	3.0	1.5
	機能性	2.5	2.5	2.5
	経済性	4.0	2.0	2.0
	施工計画	2.0	2.0	2.0
	小計	17.5	12.5	14.0
維持管理業務に関する事項	維持管理体制	2.0	1.0	1.0
	修繕計画	4.0	2.0	2.0
	清掃業務	1.0	0.5	1.0
	その他維持管理業務	3.0	1.5	1.5
	小計	10.0	5.0	5.5
事業運営業務に関する事項	調理体制	6.0	6.0	6.0
	調理過程の安全性	2.5	2.5	5.0
	衛生管理業務	5.0	5.0	2.5
	運搬中の安全性	1.5	1.5	1.5
	残滓の発生抑制・リサイクル	6.0	3.0	3.0
	給食の受け渡し後の安全性	0.5	0.0	0.5
	食中毒等の原因究明	1.0	1.0	1.0
	その他安全、衛生への配慮	1.0	0.0	0.0
	小計	23.5	19.0	19.5
中計		60.0	39.5	44.0
入札価格に関する事項		29.7	30.0	29.8
得点合計		89.7	69.5	73.8
順位		1	3	2